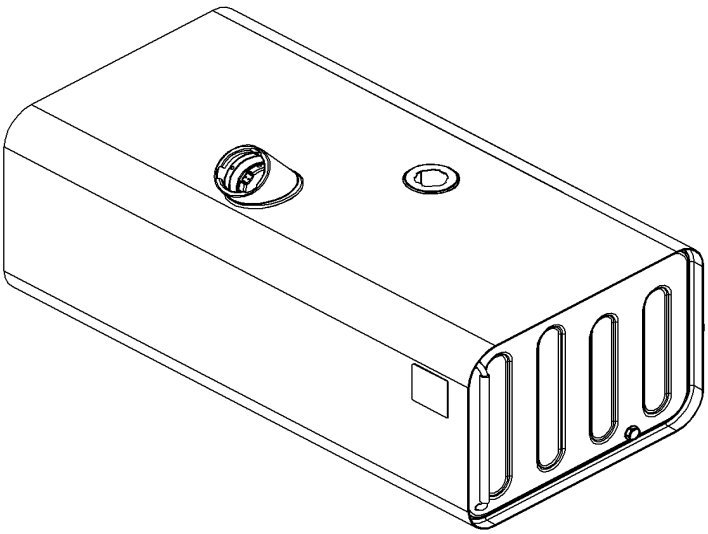
SST軽油専用燃料タンク
取付・取扱説明書

軽油専用

「協定規則第34号の技術的要件」適合品



1. 使用上の注意(SST燃料ｻﾌﾞﾀﾝｸ使用上の注意)
2. 取付時の注意(SST燃料ｻﾌﾞﾀﾝｸ取付時の注意)
3. 万一のとき
4. ユニットゲージ仕様一覧

末吉工業株式会社

〒362-0806　埼玉県北足立郡伊奈町小室10157

2109

本書の中で使用されているマーク

本文中には、安全にご使用いただくために、 ⚠危 険 ⚠警 告 ⚠注 意 のシンボルマークを使用しております。
いずれも、安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

⚠危 険

危険を無視した取扱をすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容です。

⚠警 告

警告を無視した取扱をすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注 意

注意を無視した取扱をすると、障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

※ 正しい取付・取扱い方法を守らない事によって生じた損害・トラブルは、クレームの対象となりません。
本書を良く読み、正しい取付・取り扱いをしてください。

1. 使用上の注意

(1)「協定規則第34号の技術的要件」適合性

⚠注意

本製品は、下記記載のアクセサリの組み合わせにより、「協定規則第34号の技術的な要件」に適合する燃料タンクです。

アクセサリ	協定規則第34号に適合する部品
キャップ	タンク付属のキャップ、または弊社製の下記の密閉式キャップに限ります。 ・SST-CP100R ・SST-CP800R
ユニットゲージ (メインタンクで使用の場合)	弊社製の下記のユニットゲージに限ります。 ・SST-RUGA1　・SST-RUGA3　・SST-RUGA6　・SST-RUGA8 ・SST-RUGB1　・SST-RUGB3　・SST-RUGB6　・SST-RUGB8 ・SST-RUGC1　・SST-RUGC3　・SST-RUGF1　・SST-RUGF3
カットバルブ (サブタンクで使用の場合)	弊社製のカットバルブ(SST-RCV000)に限ります。

上記に記載された指定のアクセサリー以外を使用した場合、
「協定規則第34号の技術的な要件」は不適合になります。

⚠注意

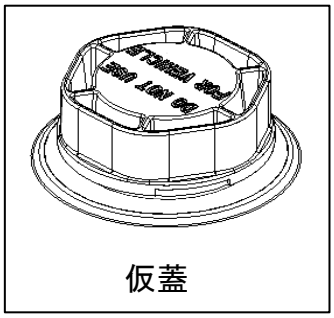
タンク前面の表示ラベル(認可マーク)について

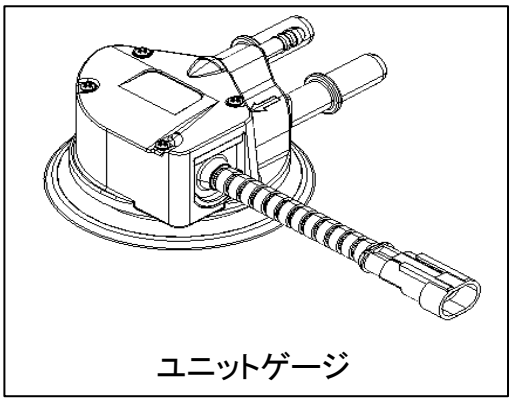
「協定規則第34号の技術的な要件」適合する燃料タンクとして、
認可マーク(Eマーク)付き表示ラベルを貼り付けてます。
認可マーク(Eマーク)は、部品型式認証取得した証となりますので、
ラベルを剥がしたり、塗装をしないでください。

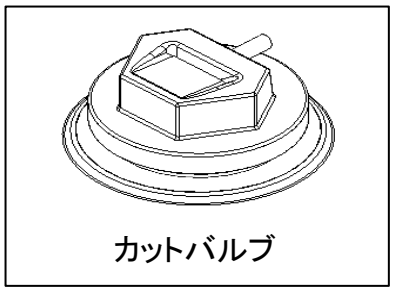
なお、Eマーク付きラベルの再発行はできません。

⚠注意

燃料タンク納入時、ユニットゲージ・カットバルブ取付部に取付けられているキャップは、
異物混入防止用の仮蓋になります。
必ず「協定規則第34号の技術的な要件」に適合する弊社製ユニットゲージ・カットバルブの
いずれかに交換してください。







1. 使用上の注意

(2) 燃料タンク付近は、火気厳禁です。

⚠危 険

・ 燃料タンク付近での火気の使用はもちろん、引火しやすいものも置かないでください。火災の危険があります。

(3) 運転前には、必ず始業点検を行なってください。

⚠警 告

・ 運転前には必ず始業点検を行い、下記項目の異常が無いことを確認してください。

※ タンクからの燃料漏れはないか。
※ ホース、プラグ、ユニットゲージまたはカットバルブからの燃料漏れはないか。
※ タンク取付部品にガタつきはないか。

(4) 給油時の注意

⚠危 険

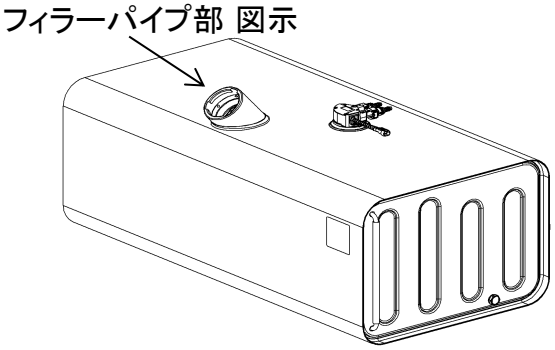
・ SST燃料サブタンクは軽油専用です。

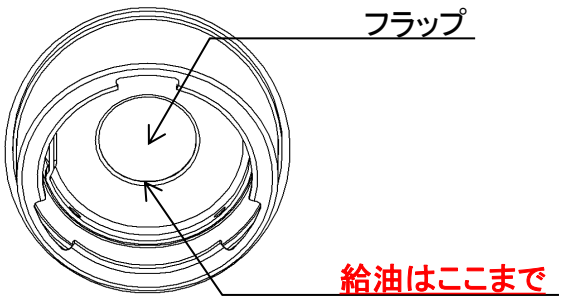
※ 軽油以外の燃料は使用しないでください。火災及びエンジントラブルの危険があります。

⚠注 意

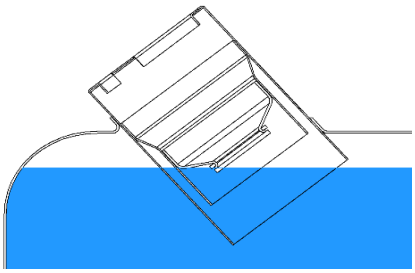
・ 燃料はフィラーパイプの上面まで入れないでください。

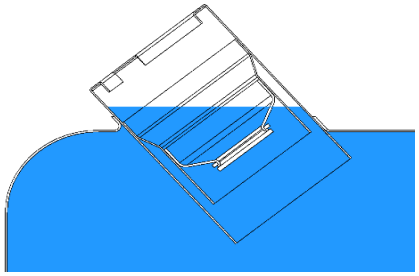
※ フィラーにノズルを確実に挿入して、オートストップが作動するまで給油をしてください。ノズルを浮かせて、継ぎ足し給油を行うと、燃料がこぼれる場合があり、危険です。
※ フィラーパイプ上面まで入れた場合、燃料があふれることがあります。給油は、フィラーパイプ内のフラップの下部までとしてください。





フィラーパイプ部 図示詳細





(5) タンクの塗装について

⚠注意

- タンクは防錆のために定期的に塗装してください。塗装する時は、古い塗料及び油脂分を取り除いてから行なってください。
- 錆を発見した時は、直ちに錆を取除き補修塗料をしてください。
  ステー、バンド等に取付けているゴム、ユニットゲージ、表示ラベル(認可マーク)及びタンク上面のステー位置には、塗装しないで下さい。

(6) バンドの定期的な増し締めについて

⚠注意

- バンドラバーの劣化やなじみにより、バンドが緩む場合がありますので、定期的に規定トルクにて増し締めを実施してください。

(7) 燃料入れ替え・抜き取りについて

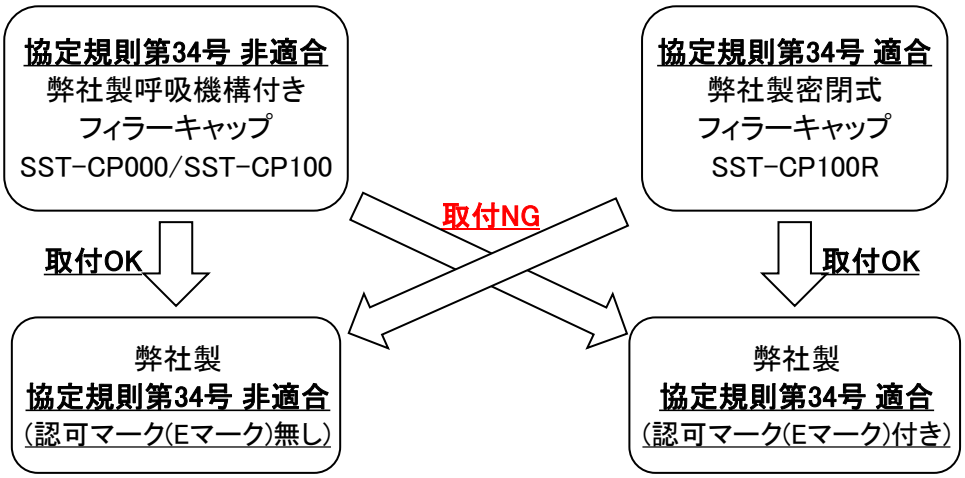
⚠注意

- 燃料の入れ替え・抜き取りは、タンク底面のドレンボルトより実施してください。
- パッキンは、再使用しないできません。ドレンボルト脱着の際は必ず新品のパッキンに交換してください。
- ドレンボルトの締付トルクは、底面・サイド部ともに80～120Nm(8.0～12.0kgf・m)のトルクで締め付けてください。

(8) フィラーキャップについて

⚠警告

- 他社製のフィラーキャップをSST燃料タンクには使用しないで下さい。
  また、弊社製のものであっても、協定規則第34号に適合する密閉式フィラーキャップ以外は、使用しないでください。
  適正なフィラーキャップを使用しないと、「協定規則第34号の技術的要件」に不適合になります。
- 給油時には、フィラーキャップのガタつきやゴムパッキンのひび割れ等の異常がないかを確認してください。
- フィラーキャップバネ板の変形やゴムパッキンの劣化は、燃料漏れにつながります。新品と交換してください。
- フィラーキャップを取付ける時は、ストッパー位置まで確実に回してください。
  不完全な取付けでは、燃料が漏れたり、異物がタンク内に入り、エンジントラブルの原因となります。
- フィラーキャップを紛失・破損した時は、販売店にご相談のうえ、適正な協定規則第34号に適合する弊社製フィラーキャップを取付ください。
- フィラーキャップを適合外の燃料タンクに取り付けると、燃料の吸込み不良によるエンジン停止、タンクの変形等が発生し、大変危険です。
  絶対に行わないでください。

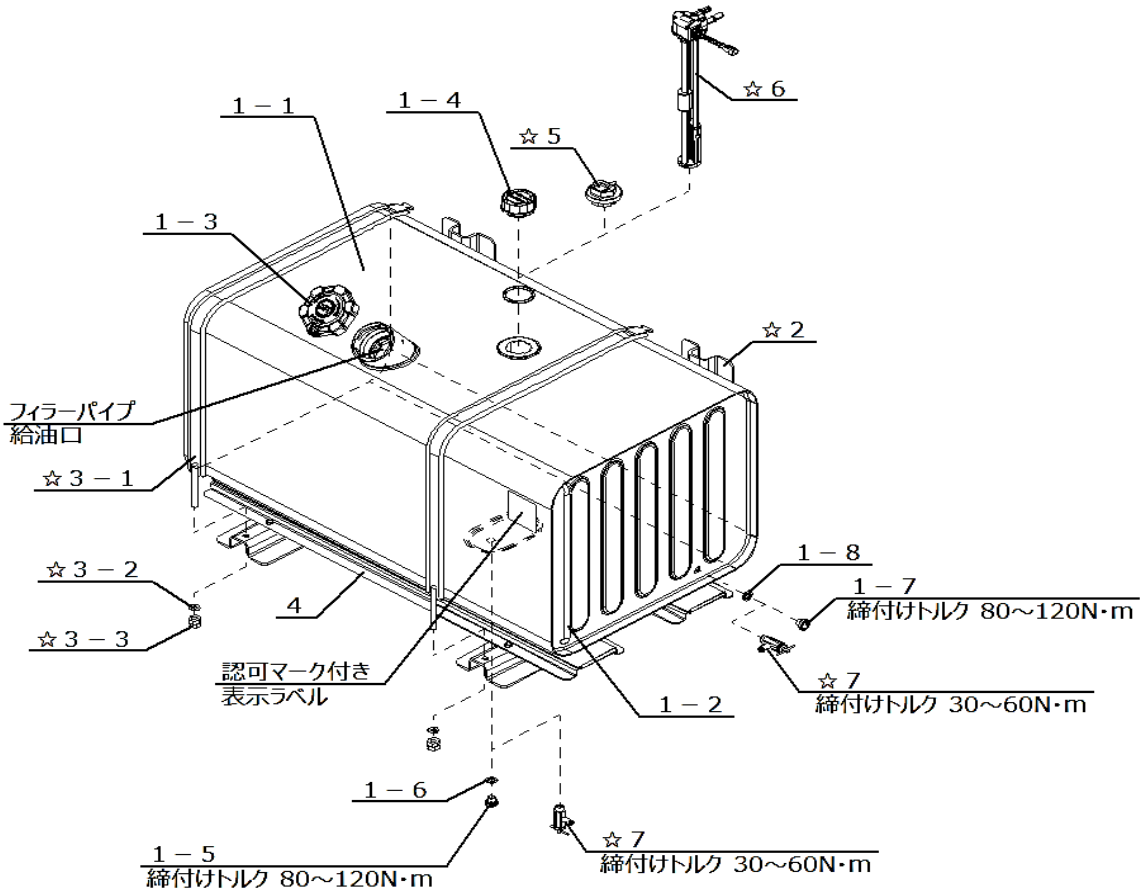


2. 取付時の注意

(1) 取扱の注意

・ 運搬時、落下等でタンクに衝撃を与えないでください。
・ 雨水のかからない、湿気の少ないところに保管してください。
・ 保管時は、横置きせずレベルゲージ側を上にして縦置きしてください。
　上にする側は、梱包ダンボールに表示してあります。
・ タンクの取扱は2人で行なってください。

(2) 構成部品及び各部の名称



1. タンクASSY
　1-1. タンク
　1-2. レベルゲージ
　1-3. フィラーキャップ
　1-4. 仮蓋
　1-5. ドレンプラグ
　1-6. パッキン
　1-7. サイドドレンプラグ
　1-8. パッキン

☆ 2. ステー
☆ 3. バンド
　3-1. バンド
　3-2. ワッシャー
　3-3. 六角ナット
☆ 4. 保護板
☆ 5. カットバルブ

☆ 6. ユニットゲージ
☆ 7. 連結用コック

・ ☆印部品は別売りです。
・ タンクの取付にはタンク形式に合わせた専用の取付部品をご使用ください。
・ メインタンクとして使用する時は、タンク形式及び車種に合わせたユニットゲージを、
　サブタンクとして使用する時は、カットバルブをご使用ください。

⚠ 注 意

・ 梱包を解いた際、商品に変形・異常・内部の錆・水・ゴミなどが無い事を確認してください。

2. 取付時の注意

(3) 部品の準備

タンク品番に合せて、下表の専用取付部品で取付けてください。

スチール製

形式	タンク品番 (SST-)	容量 (ℓ)	タンクの大きさ (mm) 高さ	奥行	長さ	給油口位置 中央より	重量 (kg)	ステー間隔(L) (mm)	取付部品 ステー	バンド	保護板
A型	SA15A-R0	150	322	532	975	左へ80mm	26.0	480～500	HA15R(2)	BA15(2)	無し
	SA20A-R0	200			1275		32.5	680～700			
B型	SB15A-R0	150	392	532	800		24.5	390～410	HB15R(2)	BB15(2)	無し
	SB20A-R0	200			1050		30.5	680～700			
	SB25A-R0	250			1275		36.5	700～720			
C型	SC20A-R0	200	503	603	725		29.0	345～365	HC20R(2)	BC15(2)	無し
									HC30R(2)	BC30(2)	RC20(2)
	SC30A-R0	300			1075		41.5	680～700	HC20R(2)	BC15(2)	無し
									HC30R(2)	BC30(2)	RC30(2)
	SC40A-R0	400			1405		53.5	440～450,440～450	HC30R(3)	BC30(3)	RC40(2)
F型	SF30A-R0	300	453	603	1220		43.0	680～700	HF30R(2)	BF30(2)	無し

ステンレス製

形式	タンク品番 (SST-)	容量 (ℓ)	タンクの大きさ (mm) 高さ	奥行	長さ	給油口位置 中央より	重量 (kg)	ステー間隔(L) (mm)	取付部品 ステー	バンド	保護板
A型	ZA15A-R0 ZA15AU-R0	150	322	532	975	左へ80mm	27.5	480～500	HA15R(2)	BA15(2)	無し
	ZA20A-R0 ZA20AU-R0	200			1275		34.4	680～700			
B型	ZB15A-R0 ZB15AU-R0	150	392	532	800		22.0	390～410	HB15R(2)	BB15(2)	無し
	ZB20A-R0 ZB20AU-R0	200			1050		28.0	680～700			
	ZB25A-R0 ZB25AU-R0	250			1275		38.3	700～720			
C型	ZC20A-R0 ZC20AU-R0	200	503	603	725		30.1	345～365	HC20R(2)	BC15(2)	無し
									HC30R(2)	BC30(2)	RC20(2)
	ZC30A-R0 ZC30AU-R0	300			1075		38.0	680～700			RC30(2)
	ZC40A-R0	400			1405		51.5	440～450,440～450	HC30R(3)	BC30(3)	RC40(2)
F型	ZF30A-R0	300	453	603	1220		44.8	680～700	HF30R(2)	BF30(2)	無し

⚠ 警告

- SC40A-R0・ZC30A-R0・ZC40A-R0には必ず保護板(RC30、RC40)を使用ください。
- SC20A-R0・ZC20A-R0・SC30A-R0には、保護板をオプションにてご用意しています。
  振動が厳しい車両や悪路走行車両には必ず保護板を使用ください。
  -ホイールベースが長い車両で、前後輪間の中心より後ろに取付けた場合は
    振動が厳しくなる傾向にあります。
  -後輪に近い位置に取り付けると、振動が厳しくなります。
  -また、エアサス車は車軸間のフレーム振動が厳しい傾向にあります。

2. 取付時の注意

(4) ステー・保護板の取付

トラックに取付ける場合の一般的な取付け手順になります。

既存タンクの取外し（メインタンクのみ）

1) メインタンクとして使用する場合は、既設のタンクの軽油を抜いてから取外します。なお、この時、燃料の吸込み側と戻り側のホースに識別を付けます。

ステー取付位置の確認

等ピッチフレーム穴を用いて取付ける場合

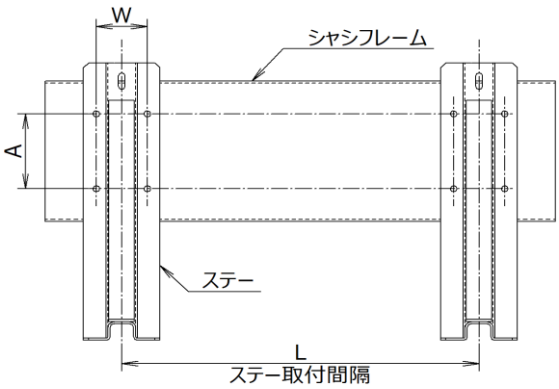
2) ステーを取付けた時シャシフレーム内外のリベット等の突起物にステー及びボルトが干渉しないか、タンクを載せたときタンクが他の部品と干渉しないかを確認する。
問題がない場合は、ステーに取付用の穴をあける。穴径はフレーム穴と同サイズの穴をあける。

等ピッチフレーム穴を用いないで取付ける場合

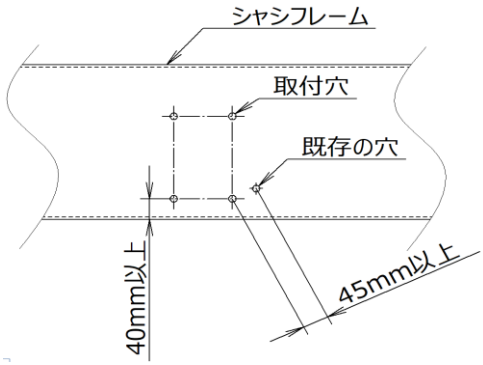
2) ステーを取付けた時シャシフレーム内外のリベット等の突起物にステー及びボルトが干渉しないか、タンクを載せたときタンクが他の部品と干渉しないかを確認する。
問題がない場合は、シャシフレーム及びステーに取付用φ13mmの穴をあける。

⚠注意

- タンクの形式に合ったステーを使用し、タンクのステー間隔(L)は指定の範囲以内をお守りください。
- シャシフレーム及びステーの固定は、ステー1本につき4ヶ所で取付けてください。ステーを固定する4ヶ所は、左右の高さをそろえてください。
- 取付け穴の縦ピッチ(A)は、
  大型車160mm以上、
  中型車120mm以上の間隔としてください。
- 等ピッチフレーム穴を用いないで取付ける場合、取付け穴の横ピッチ(W)は100～120mmの間隔としてください。



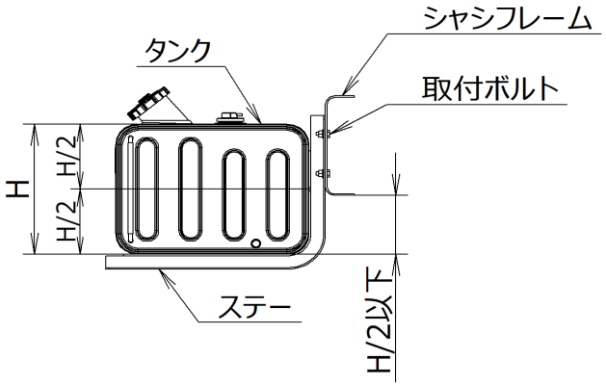
- 等ピッチフレーム穴を用いないで取付ける場合、シャシフレームにあける取付け穴は、下記を必ずお守りください。
  ※ 概存の穴からは45mm以上離してください。
  ※ 上下のフランジから40mm以上離してください。
  ※ 取付け穴のバリは確実に取除き、穴の内側は防錆のため、塗料を塗布してください。



ステー取付位置については、必ず取付車両メーカー作成の架装要領書に従い、実施してください。

次ページに続く。

・ タンクの取付位置(高さ)、シャシフレーム下端より下へタンクの高さ(H)の1/2を超えない範囲で取付けてください。



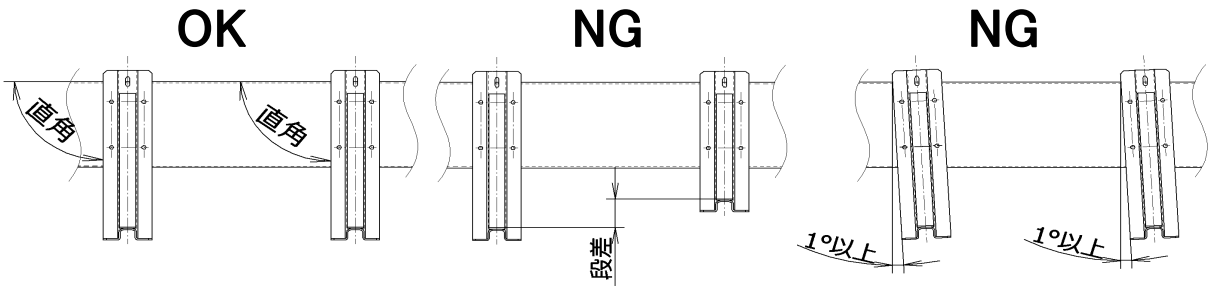
・ 後輪タイヤの直近に取付けた場合は、耐久性が低下する可能性があります。
・ ステーとフレームの間にスペーサーやプレート等を入れると、大幅に耐久性が低下するため、行わないでください。

ステーの取付

3) ステーをシャシフレームに取付けます。
シャシフレームの内側からボルトを入れ、ナットで固定します。この時、必ずバネ座金を使用してください。
使用するボルト・ナットは、2)であけた取付穴サイズに合ったサイズのJIS強度区分8.8または7T以上の物を使用し、シャシフレームに70～90N・m(7.0～9.0kgf・m)のトルクで締め付けてください。

⚠注意

・ ステーは垂直に取付け、タンク底受け面は水平に取付けてください
傾き公差は±1°、ステー左右の段差は1mm以内にしてください。

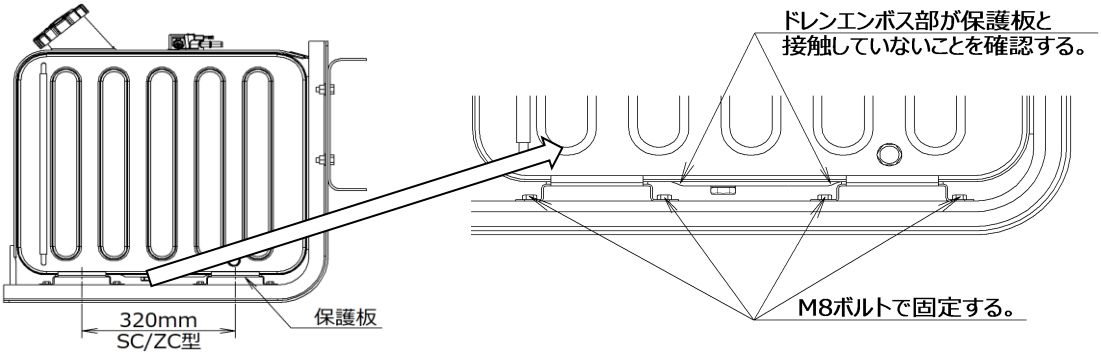


保護板の取付(対象タンクのみ)

4) 保護板を取付けます。
ステー位置の中心と保護板の中心を合せ、保護板をステーにボルトで取付けます。締結は、M8・JIS強度区分8.8または7T以上のボルト 8本または12本で30～35N・m(3.0～3.5kgf・m)でおこないます。

⚠注意

・ 保護板を取付ける時、横方向はステー中心と保護板の中心を合わせ、縦方向はタンクの曲面及びハンガーの曲面に乗上げぬようSC/ZC型は320mmのピッチで位置を決め、M8ボルトでしっかり固定してください。

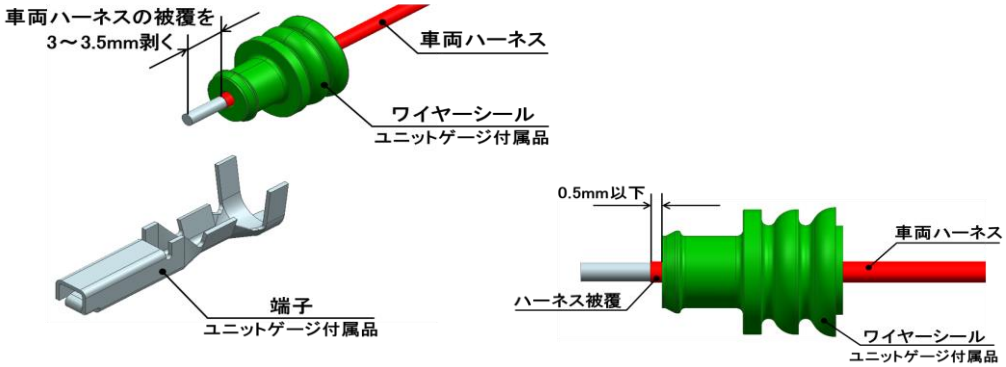


2. 取付時の注意

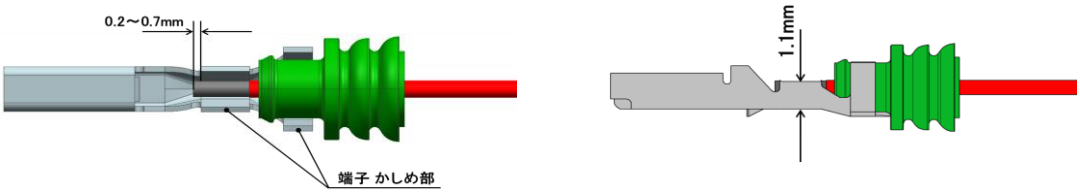
(5) タンクの搭載

ユニットゲージの
配線接続
（メインタンクのみ）

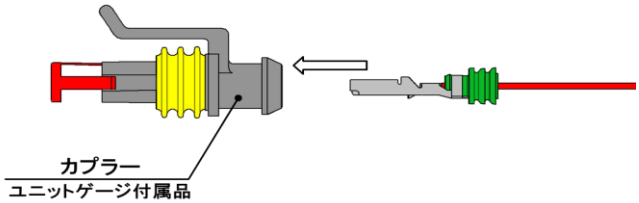
1) 車両ハーネスの被覆は、3.0～3.5mm剥き、ユニットゲージ付属のワイヤーシールを取付ける。
ワイヤーシール取付けの位置は、ワイヤーシール端部から車両ハーネスの被覆が0.5mm以上にならないようにしてください。



端子にワイヤーシール付き車両ハーネスをのせ、端子かしめ部をワイヤーシールと共に圧着する。車両ハーネスのワイヤー先端は端子かしめ部から0.2～0.7mmになるようにし、ワイヤー先端の端部かしめ部の高さは1.1mmになるようにする。

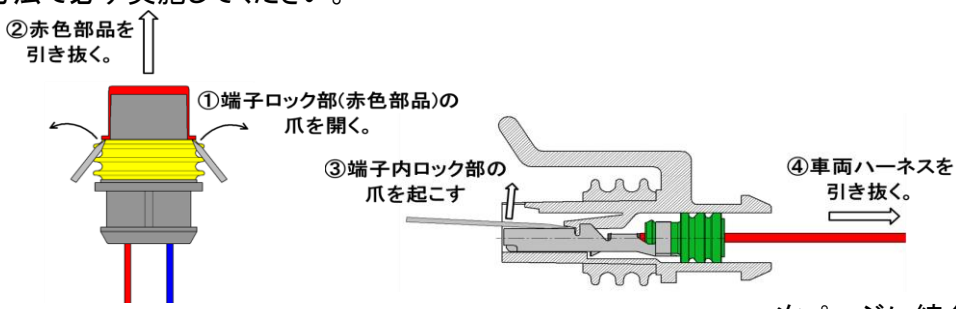


端子の向きに注意し、カプラーに端子を「カチッ」というまで、差し込んでください。
その後、軽く引っ張り端子が抜けないことを確認してください。



端子先端のロック部(赤色部品)を少し、持ち上げ、奥まで押し込んでください。

カプラーの端子を外す場合は、下記の①～④の順序で行ってください。
無理にハーネスを抜こうとすると、端子やカプラーが破損する為、下記の方法で必ず実施してください。



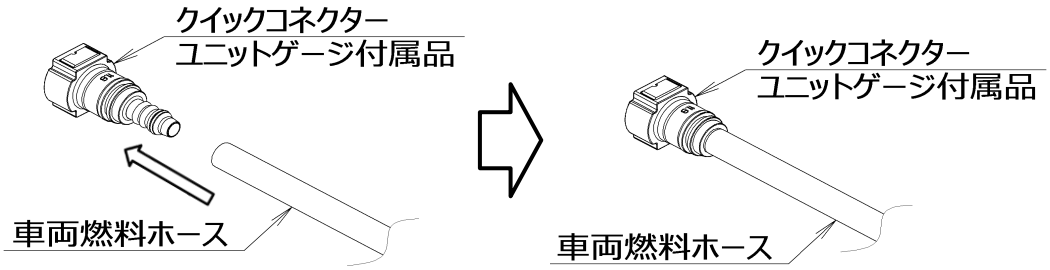
次ページに続く。

⚠注意

- 車両が3線式で、2線のみ使用の場合は、配線を確認の上、接続し、余った線を絶縁テープ等で絶縁対応を実施してください。
- ユニットゲージ付属のワイヤーシールを取付け忘れると、カプラーの防水性がなくなり、燃料メーターが正しく作動しなくなる恐れがあるので、必ず取付けてください。

燃料ホース取付
（メインタンクのみ）

2) メインタンクとして使用の場合は、吸込み側、戻り側のマスキングを外し、車両ホース内径に合ったクイックコネクター(ユニットゲージ付属)にホースクランプを用いてホースを確実に取付けてください。逆にホースを取付けた場合、不具合が生じる恐れがあります。



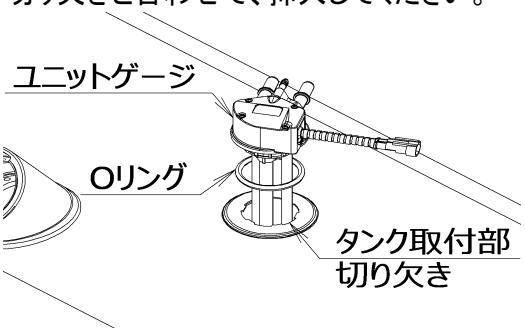
⚠警告

- 燃料ホースは、クイックコネクターの奥まで差し込み、ホースを触って、緩みや抜けないことを確認してください。

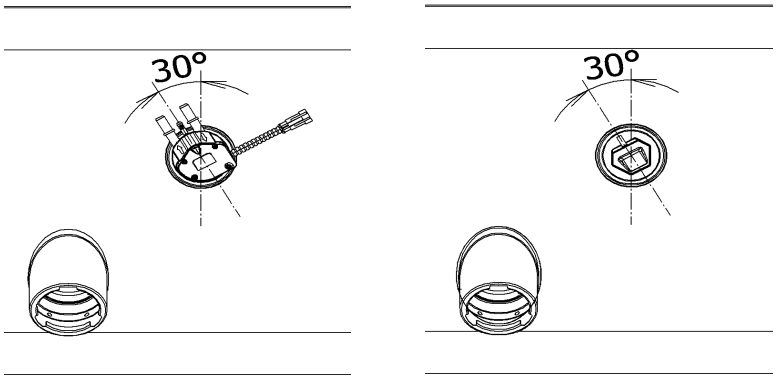
ユニットゲージ、カットバルブの取付

3) タンクのユニットゲージ・カットバルブ取付穴部分に取付けている仮蓋を取り外してください。この時、Oリングは再度、使用する為、紛失に注意してください。
メインユニットで使用する場合は適正なユニットゲージ、サブタンクで使用する場合は、カットバルブを取付けてください。

Oリング、ユニットゲージ・カットバルブをタンクの取付け部の切り欠きと合わせて、挿入してください。

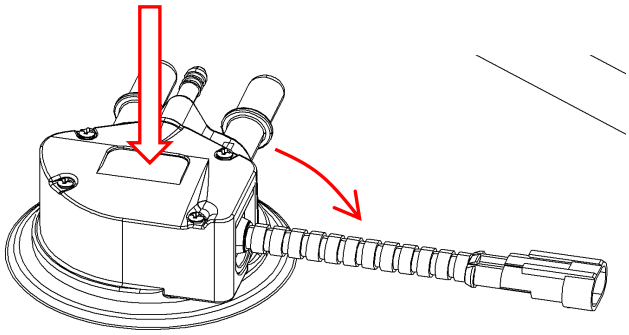


ユニットゲージ・カットバルブのタンク取付部切り欠きへの差込み位置は、下図の位置になります。



次ページに続く。

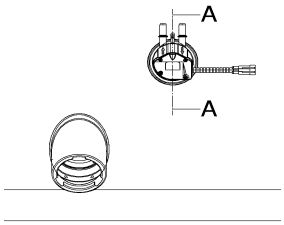
ユニットゲージ・カットバルブをタンクに押し付け、Oリングを潰しながら、
時計回りで止まるまで回してください。
この時、取付けにくい場合は、Oリングにシリコンオイルまたは軽油を
塗布し、取付けてください。

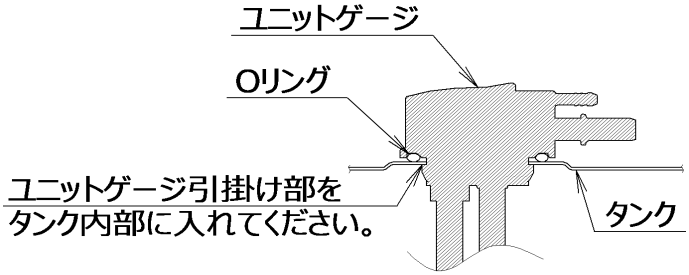


⚠注意

- ユニットゲージ・カットバルブは、Oリングを挟み、止まるまで確実に回してください。
  止まる前で取付けをやめると、燃料漏れ、又は最悪の場合、ユニットゲージ・
  カットバルブが外れ、タンク内に異物が混入し、停車する恐れがあります。
- ユニットゲージ・カットバルブの差込みが浅い状態で回すと、ユニットゲージ・カットバルブが
  破損します。取付時は、下図を確認し、しっかり押し込みながら取付けを実施してください。

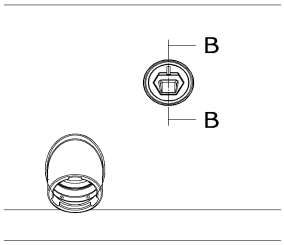
ユニットゲージ取付時

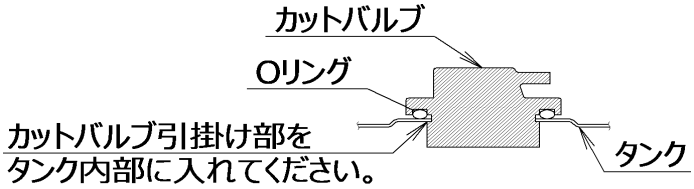




断面A−A部

カットバルブ取付時





断面B−B部

タンクの搭載

4) ステーまたは保護板にタンクを載せます。
タンク上面のステー位置表示の位置を確認して、タンクの中心がステー間隔の
中心に来るように、タンクをステーまたは保護板に載せます。

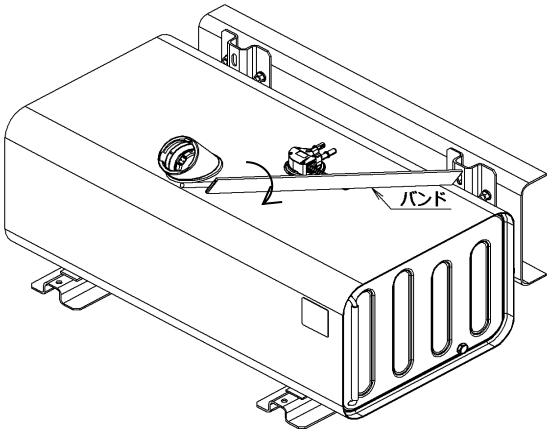
⚠注意

- ステー間隔(L)の位置には、タンク内部に補強が入っています。ステーを必ず
  指定のステー間隔範囲以内にお取付ください。
- ステー位置はタンク上面のステー位置表示と合せてください。
- ステーとタンクは適合形式のものをセットでご使用ください。もしステー位置が
  タンクの表示下に無い場合は、品番の相違またはステー間隔が合っていない
  恐れがあり、確認してください。
- タンクは、「2. 取付け時の注意 (3)部品の準備」に記載する取付部品、ステー間隔を
  守って取り付けてください。

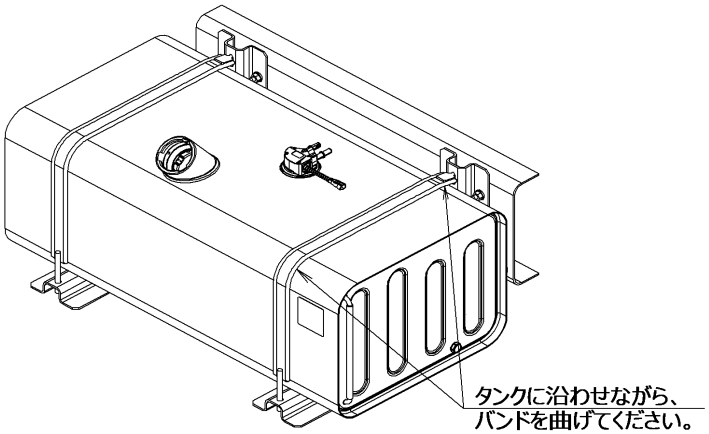
次ページに続く。

バンドの
取付・締付

5) ステーの長穴にバンドのフックを挿入したあと、クッション材(ラバー)が
タンク側になるように、取付けてください。

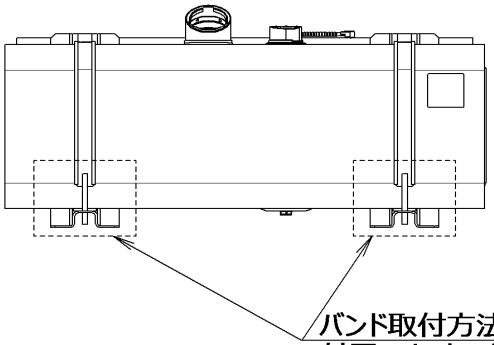


バンドを挿入しにくいときは、タンクを少し手前に引き出し、バンド挿入後、
タンクを元の位置に戻します。
タンクに沿わせながら、バンドを曲げ、ステーのボルト穴に通します。

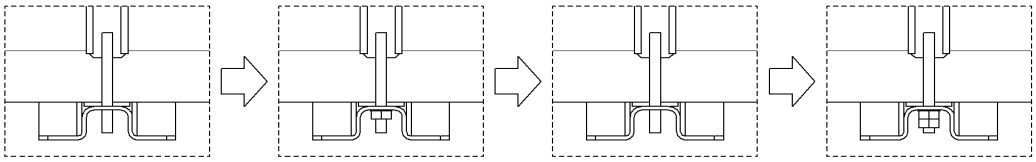


付属の平座金を挿入後、1段目のナットを下表のトルクで締め付けます。
締め付け後、一旦、ナットを外し、再度、下表のトルクで締め付けます。
2段目のナットを下表のトルクで締め付けます。

	1段目	2段目
ナット 締め付けトルク	14～16N・m (1.4～1.5kgf・m)	30～35N・m (3.0～3.5kgf・m)



バンド取付方法は、下記の順序で
付属のナットで締め付けてください。



1段目ナット
指定トルク締付

1段目ナット取外し

1段目/2段目ナット
指定トルク締付

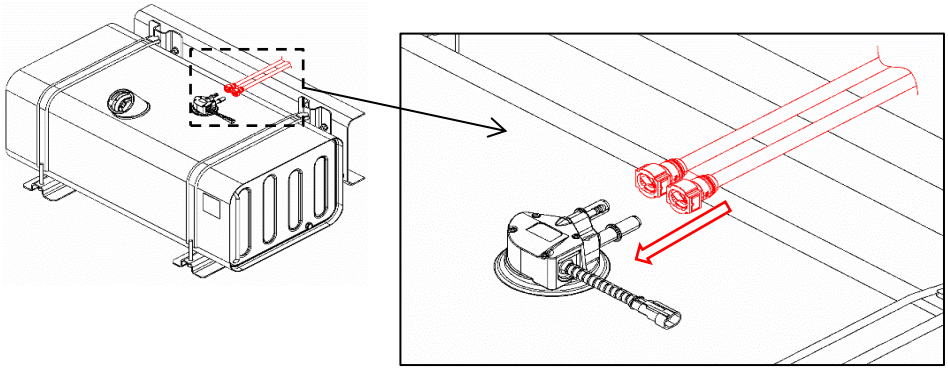
次ページに続く。

⚠注意

- **<u>バンドは、本書記載の方法で取付を行わないと、耐久性が著しく低下します。</u>**
- バンドの締付に使用するナットは、付属のナットを使用してください。
- バンドはタンクに対し垂直になるよう取付けてください。（公差±1°）
- 2段目のナットを締付ける時は、必ず1段目のナットをスパナで固定してください。
- **<u>1段目のナットは、必ず指定トルクで2度締めを行ってください。</u>**
- **<u>ラバーが劣化やなじみにより、バンドが緩む場合があります。定期的に規定トルクにて締め直してください。</u>**

クイックコネクターの取付（メインタンクのみ）

6) 車両側燃料ホースを取付けたクイックコネクターをユニットゲージに「カチッ」と音がするまで押し込み、取付けてください。

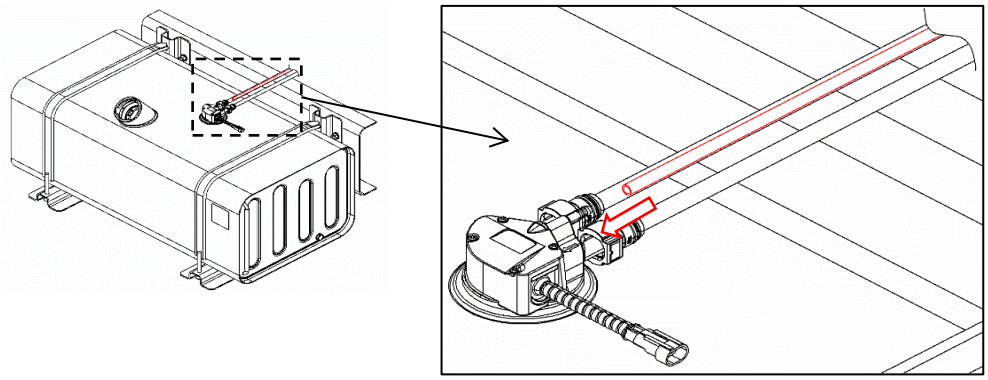


⚠注意

- クイックコネクターは、確実に接続されていることを確認してください。

ブリーザーホースの取付

7) ユニットゲージ、カットバルブのブリーザーパイプにブリーザーホース(φ6)を取付けてください。



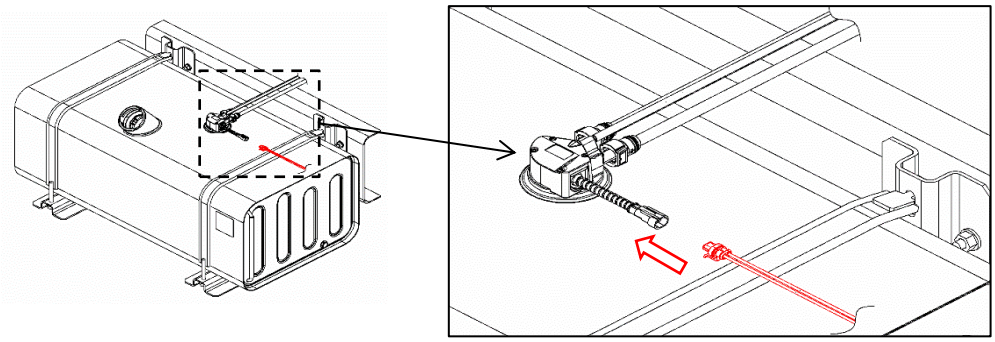
⚠警告

- ブリーザーホース開口部は、排気管や排気ガス等の高温部位や露出した電気端子の方向に向けないでください。
  （車両純正でブリーザーホースの設定がある場合は、同一部位に取付けてください。）

次ページに続く。

ユニットゲージ
配線カプラー
取付

8) 1)で加工した配線カプラーをユニットゲージに「カチッ」と音がするまで
押し込み、取付けてください。

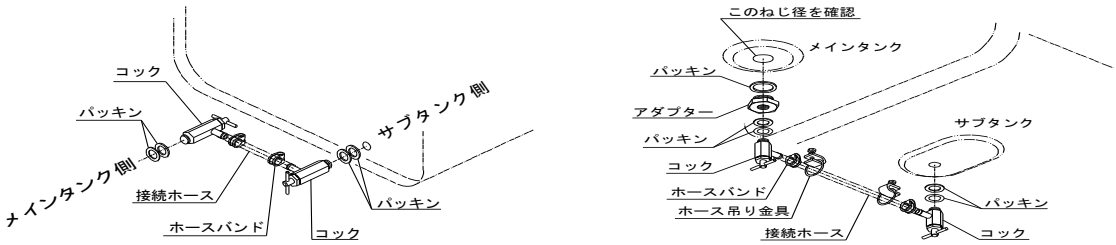


⚠注意

- 配線カプラーは、確実に接続されていることを確認してください。
- 配線カプラーが確実に取付けられていないと、カプラーの防水性がなくなり、
燃料メーターが正しく作動しなくなる恐れがあるので、必ず確実に取付けてください。

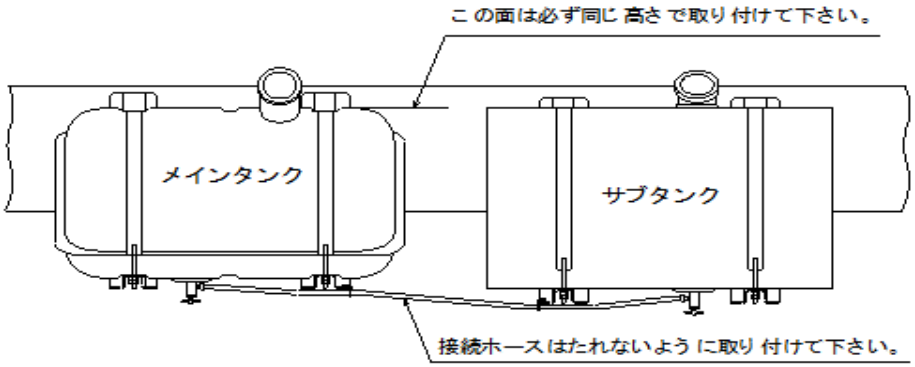
コネクターキット
の取付
(タンク接続時のみ)

9) タンクを接続する時は、メインタンクのネジ径に合ったコネクターキットが
必要です。メインタンクのネジ径を確認の上、『SST燃料サブタンク』の
カタログより選んで使用してください。
コックは30～60N･m(3.1～6.1kgf･m)のトルクで締付けてください。



⚠警告

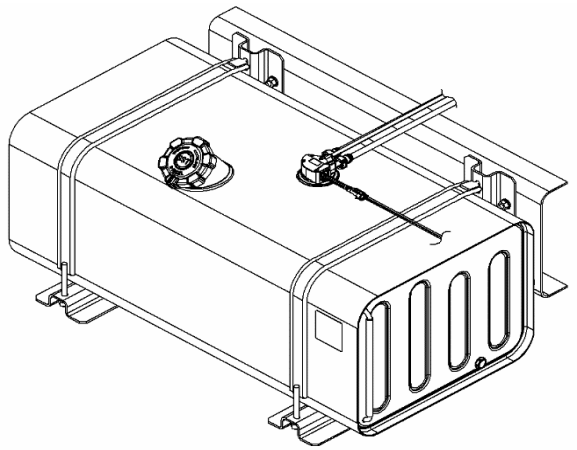
- コネクターキットの取付は、タンクの燃料を確実に抜き取ってから行なってください。
- メインタンクとサブタンクの上面は、必ず同じ高さで取付けてください。(下図参照)
- コネクターキットには、接続ホースは含まれておりません。
接続ホースは、自動車メーカー指定またはJASO(自動車規格)に規定された
燃料用ゴムホースまたは燃料用ビニールホースをご使用ください。
- コックを取付ける時は、2種類の厚さ違いのパッキンが梱包されていますので、
2種類のパッキンから選んでホース取付口の向きを調整してください。
- タンク本体に付いていたパッキンは、再使用しないでください。
- 下-下連結の時は、コックが車両の最低地上高にならないようにしてください。
- 取付完了後、必ず各接続部より燃料漏れの無いことを確認の上、ご使用ください。
- 給油中及び給油直後(特にそのまま車庫などで駐車する時)は,必ず片方の
コックを閉めてください。道路及びタンクの取付条件によっては、キャップより
燃料が逆流することがあります。



次ページに続く。

フィラーキャップの取付

10) 燃料タンク付属または協定規則第34号に適合する弊社製フィラーキャップを取付けてください。

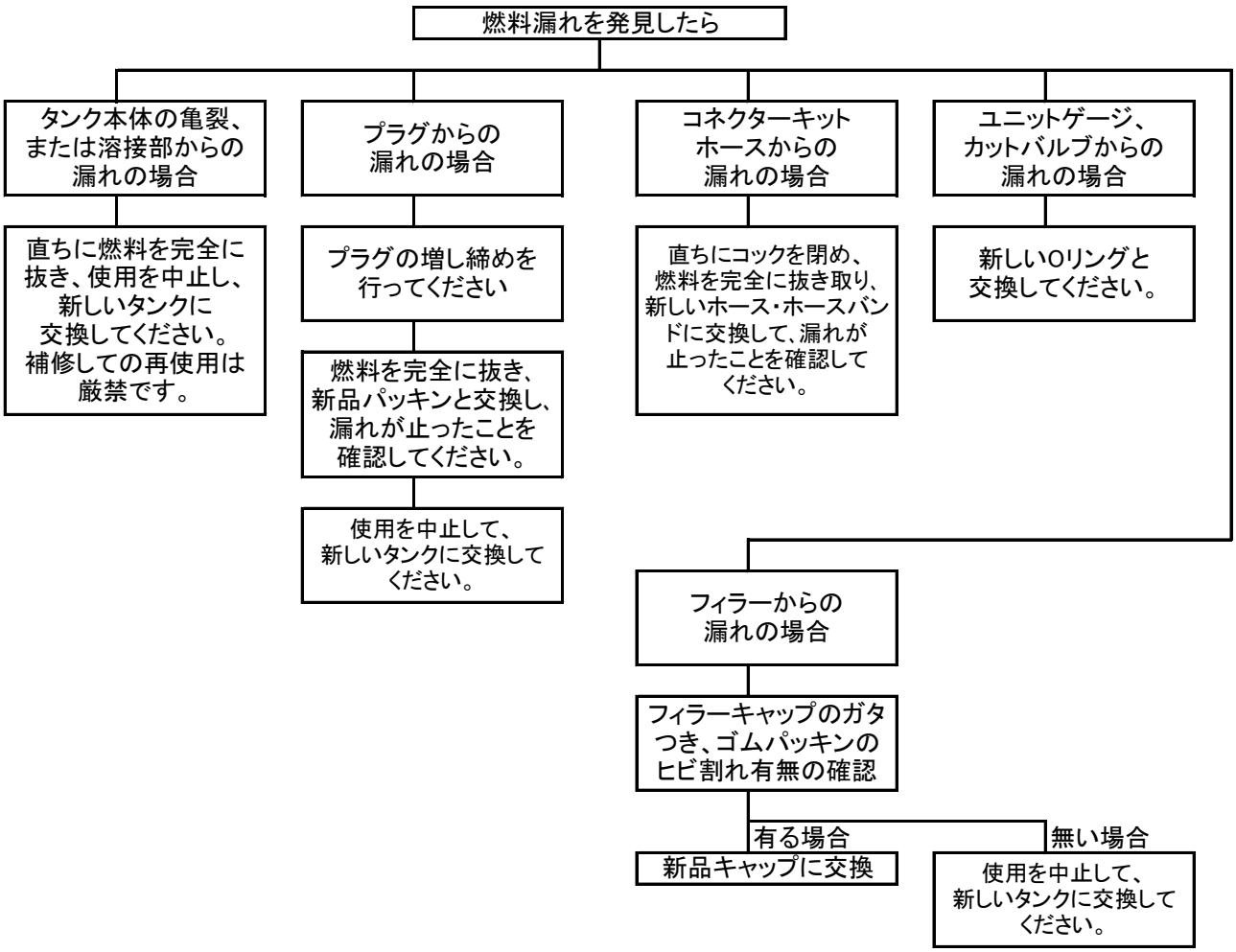


⚠注 意

- フィラーキャップのゴムパッキン部にゴミ等の異物がないことを確認し、取付けてください。
- フィラーキャップを取付ける時は、ストッパー位置まで確実に回してください。
  不完全な取付けでは、キャップが脱落したり、燃料が漏れたり、異物がタンク内に入り、エンジントラブルの原因となります。

3. 万一のとき（燃料漏れを発生したとき）

タンク本体及び接続部からの燃料漏れを発見したら、直ちに下記のフローに従い、処置を取ってください。

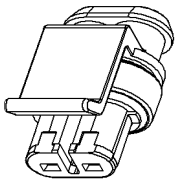


ユニットゲージ仕様表(別売り)

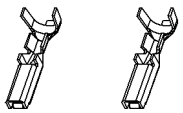
各ユニットゲージの仕様は下記の通りになります。
取付ける車両仕様に合ったユニットゲージの選定をお願いいたします。

<table>
<tr><th rowspan="2">型式</th><th colspan="2">適用タンク（SST-）</th><th colspan="3">抵抗値（Ω）</th></tr>
<tr><th>スチール製</th><th>ステンレス製</th><th>Full位置</th><th>1／2</th><th>Empty位置</th></tr>
<tr><td>RUGA1</td><td rowspan="4">SA15A-R0
SA20A-R0
SA15AH-R0
SA19AH-R0</td><td rowspan="4">ZA15A-R0
ZA20A-R0
ZA15AU-R0
ZA20AU-R0</td><td>0</td><td>50</td><td>150</td></tr>
<tr><td>RUGA3</td><td>0</td><td>31</td><td>150</td></tr>
<tr><td>RUGA6</td><td>3</td><td>32.5</td><td>110</td></tr>
<tr><td>RUGA8</td><td>4</td><td>44</td><td>110</td></tr>
<tr><td>RUGB1</td><td rowspan="4">SB15A-R0
SB20A-R0
SB25A-R0</td><td rowspan="4">ZB15A-R0
ZB20A-R0
ZB25A-R0
ZB15AU-R0
ZB20AU-R0
ZB25AU-R0</td><td>0</td><td>50</td><td>150</td></tr>
<tr><td>RUGB3</td><td>0</td><td>31</td><td>150</td></tr>
<tr><td>RUGB6</td><td>3</td><td>32.5</td><td>110</td></tr>
<tr><td>RUGB8</td><td>4</td><td>44</td><td>110</td></tr>
<tr><td>RUGC1</td><td rowspan="2">SC20A-R0
SC30A-R0
SC40A-R0</td><td rowspan="2">ZC20A-R0
ZC30A-R0
ZC40A-R0
ZC20AU-R0
ZC30AU-R0</td><td>0</td><td>50</td><td>150</td></tr>
<tr><td>RUGC3</td><td>0</td><td>31</td><td>150</td></tr>
<tr><td>RUGF1</td><td rowspan="2">SF30A-R0</td><td rowspan="2">ZF30A-R0</td><td>0</td><td>50</td><td>150</td></tr>
<tr><td>RUGF3</td><td>0</td><td>31</td><td>150</td></tr>
</table>

ユニットゲージ付属品
別売りのユニットゲージには、取付けに必要な下記の部品が含まれております。

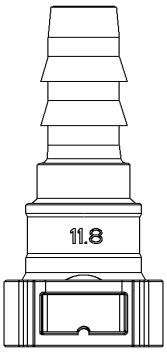


カプラー（1個）

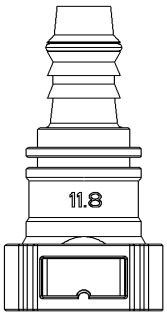


端子（2個）

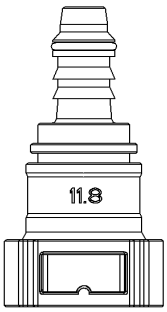
ワイヤーシール（2個）



クイックコネクター



クイックコネクター



クイックコネクター